

学校を支援するボランティアを活用して良かった点、得られた効果など（抜粋）

【公立小学校】

○安心・安全の確保

- ・教職員だけでは目の行き届かない児童の見守りや声かけをしてもらったことで、児童が安全に楽しく活動することができた。
- ・教員の配置が難しい状況で、補助的な役割をってもらうことで、児童を見守る学校体制を作ることができた。
- ・小規模校で児童数、教職員数が少ないことから、行事の準備や片付けなどで人数確保できると、児童の安全面などに気を配ることができる。

○学校行事などの円滑な運営

- ・毎年同じボランティアにお願いしているので、互いにコミュニケーションが取りやすく、円滑に活動を進めることができる。
- ・外国籍の児童との交流会では、英語の堪能なボランティアの方々の協力があつたため、スムーズに会を進めることができた。

○学習の充実

- ・多様な体験や経験の機会が増えたり、規範意識やコミュニケーション能力の向上につながったりした。
- ・学校ではできない学習をしたり、教職員だけでは十分に指導できない部分を補えたりすることができるので、児童の意欲を高め、より効果的な教育活動が可能となる。
- ・児童への「目」が増えることによって、手厚いサポート体制がとれる。また、専門的な知識をもった方の場合、教職員の場合よりも学習内容がより定着しやすい。

○学校理解

- ・ボランティア活動を通して、学校の教育活動の様子や児童の様子、教員の願いを感じていただくことができた。
- ・学校が家庭や地域に開かれたことで学校理解を深めることにつながり、その結果、協力が得られやすくなった。

○環境整備

- ・本の修理や整頓、学校行事での補助は手が回らないところをやってくださるので、助かっている。
- ・職員だけでは手の回らない花壇や校庭の除草に協力いただき、きれいな環境で過ごすことができている。

○キャリア教育・郷土愛

- ・地域の方を知る良い機会となった。感謝の心、奉仕の心など道徳的な心情を育てることができた。
- ・地域のために活躍している人々と触れ合うことで、地域理解が図られ、ふるさとを愛する心の育成につながった。
- ・伝統芸能を学んだり、軽スポーツを一緒にしたりすることにより、コミュニケーション能力と地域への愛着と誇り、貢献しようとする心が育った。

○教員の負担軽減

- ・地域住民が学校を支援することにより、教員が授業や生徒指導などにより一層力を注ぐことができた。
- ・ボランティアが児童の補助をしてくれることにより、担任の指導時間や児童の活動時間を十分に確保することができた。

○学校・家庭・地域のつながりの深まり

- ・学校、家庭、地域が連携し共通理解を図りながら子どもたちの健全育成を進めていくという意識が醸成された。
- ・地域の絆づくりにもつながり、地域の教育力向上や活性化、学校を核とした地域づくりにつながった。

○ボランティアのやりがい

- ・ボランティアの方が自らの経験や知識を子どもたちの教育に生かすことで、生涯学習の成果を生かす場が広がり、自己実現や生きがいづくりにつながった。
- ・学校の教育活動の手伝いをする事で学校の様子が分かり、学校と地域が連携することの重要性を感じた。(ボランティアの感想)